

現場で役立つシリーズ

講習会

重大事故防止のための ねじ締結体設計の基礎(第1回)

日時 平成30年9月18日(火) 13:00~16:15

場所 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(本部)
東京都江東区青海2-4-10

- ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前
- りんかい線「東京テレポート」駅下車 都営バス海01 テレコムセンター駅前下車

受講料 2,300円

～ねじ締結体設計をご検討の方へ～

ねじはあらゆる工業製品に用いられており、標準化された部品の最たる物です。

近年、ジェットコースターの車軸の折れ、自動車車両の脱輪、航空機の墜落、土木建築構造物の倒壊など、人命に関わる重大事故が後を絶たず、それら重大事故の原因の一つに、ねじ締結体の設計不備があることはあまり知られていません。このような重大事故を未然に防止するためには、ねじ締結体の設計の基礎的な知識を深めておくことが不可欠です。

本講習会では、これまでねじ締結体の設計不備が原因で起きた事故事例を多数紹介し、ねじ締結体の設計基礎について講義を行います。また、ねじの締付け管理法の主流となっているトルク法について実験を通して理解を深めていただきます。実習では、ねじ締付け試験機を用いてボルトの締付け実験を行い、トルク係数を測定し、軸力のばらつきを把握します。



マスコットキャラクター チリン®

定員
12名



講座内容・スケジュール

| 時間 | 科目 | 講師 |
|-------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00~15:00 | 【講義】ねじ締結体における事故例とねじ締結体設計基礎 | 広島大学大学院工学研究科機械システム工学専攻 名誉教授, ASME Fellow 澤 俊行 氏 ボルト締結や接着構造の応力解析などの研究に従事 |
| 15:00~15:15 | 休憩 | |
| 15:15~16:15 | 【実習】ねじ締付け試験機を用いたボルト締結体のトルク係数測定 | 東京都立産業技術研究センター 実証試験セクター 主任研究員 松原独歩 構造、材料の強度評価に関する試験研究に従事 |